



いい店発見「ハイサイシー」
キラリ☆ものづくり企業「シャポー・ジャパン」
がんばる商店街「東十条商店街」
北区インフォメーション
おすすめビジネス書 北区景況調査

新しい風

ハワイで仕入れたお気に入りのものが 売れるのが一番うれしい！



エコーハワイアン・マジック
セレクトショップ

ハイサイシー 潮 うしお
綾子 あやこ さん

お店に来られたお客さまが、商品を見てカワイイ！と喜んでくれると幸せです。こう話すのは昨年5月30日、赤羽駅前のショッピングアーケード「ブラガーデン」に、子どもの頃から夢だった雑貨のセレクトショップ「ハイサイシー」を開店した潮綾子さんである。

海を感じるお店を出したかった潮さんは、生まれ育った大好きな北区で店舗探しをすることにしたが、一昨年の10月、いろいろ駆け回り約1年、ブラガーデンに出店を決めた。

北区チャレンジショップ 支援事業を知って

この事業は北区が区内の商店街の空き店舗を活用して創業しようとする人を対象に、2分の1の家賃補助と専門家による無料経営相談を行うもので、潮さんにとって、絶好な耳より情報だった。早速、応募したところ、審査を経て、支援を受けることができた。お店の準備はすでに出来ていたが、この制度のお陰で、資金的に



オーナーの綾子さん(左)と強力なサポーターの妹さん▶



あきらめていた商品が仕入れられたのがうれしかったそうだ。経営アドバイザーの方も熱心で、毎月あれこれ相談にのってもらえ助かっている

という。
人とのつながりを大切に。

お店は、ドアがなく、夏暑く、冬寒い。ちょっと厳しい環境だ。でも、それをカバーして余りあ

るのが、よきサポーターである妹さんやお母さん、毎日のように顔を出してくれるお友達存在である。「つらいことはすぐ忘れちゃう」という潮さんの前向きなキャラクターもあり、お客さまは30、40代の女性を中心に、まんべんなく増えている。インターネットのHPに掲載したTシャツを買いにサーファーの方が、練馬から自転車で来たり、

通りがかりで時間のない歌手の方から洋服の取り置きをお願いされたりとか、毎日楽しい出会いがいっぱいだ。『ギフトラッピングが気に入って、またプレゼントを選びに来店してくれる方が増えて嬉しい』と潮さんは言う。

数人でいっしょになるコンパクトなお店は、お客さまとの距離が近い。「あれが、かわいい。これも、おもしろい...」とつぶや



〒115-0045 北区赤羽2-8-2 TEL 5939-9970
http://hi-sai-sea.com/ E-mail: info@hi-sai-sea.com
営業時間:13:00~20:00 定休日:毎週月曜日、第1・3・5火曜日

応援メッセージ



北区中小企業経営アドバイザー 高橋文平
「ハイサイシー」は、海、島、太陽、緑をテーマにした赤羽には珍しいお店である。小さいながらも入ると、自然をテーマにした商品が見やすく展示してあり、心地よく感じるお店だ。お店のオーナーである潮さんと話していると名前とおり、潮風や島の雰囲気を感じ、つい長居をしてしまう。その間にも、次々とお客さまが覗き込んで、気に入ったものを手にレジへ！
まだ、始めて1年目のお店。これからも、明るく、楽しい「ハイサイシー」の「ファン」が増えていくよう頑張してほしい。

きも自然と耳に入る。ハワイで仕入れたおしゃれな一点もののウエア(おすすめはアロハシャツ)やバッグ、小物、アクセサリーでいっぱいの店内は、おもちゃ箱のような楽しさである。そして、潮さんのイチオシ商品が、「コペリ」だ。アメリカのネイティブアメリカンの精霊のマスクで、ハワイパージョンがある。そのハイサイシー・オリジナルを店に置くことが次の目標。その先の夢は、南の島に1日3組限定の宿を出すことだ。

さて、ここまで読んだあなたは、もう「ハイサイシー」と「コペリ」に興味津々では...。赤羽駅の近くに出かけたら、ぜひ一度のぞいてみてほしいがしよう。



女性の足を守る 美しく歩きやすいハイヒールがある。

有限会社シャポージャパン

取締役 矢口 昇さん

よく通る声で話す矢口さんは、婦人靴作り55年の大ベテラン。この春、歩きやすく疲れにくい画期的な8cmヒールのハイヒールを発表した北区昭和町の「シャポージャパン」のご主人である。工房はJR尾久駅からすぐ、明治通りに面している。

2か月ほど前、テレビや新聞などのメディアで、女性にやさしい婦人靴の工房として紹介されたこともあり、取材に伺った日も、気持ちよく快適に履ける靴を求める多くの女性が次々に訪れ、足型を計測し、入念に靴選びをしていた。女性に安心して履ける靴を作りたい。そう思い立ったのは23年前のことである。15歳でこの道に入り、婦人靴作りをしてきた矢口さんは、その頃、何かモヤモヤしていたという。足の故障に悩む女性が多すぎる…。何かが違う。靴の世界で、



足型を計測する矢口さん

底付のプロとして生きてきた矢口さんは、婦人靴の木型を自分で作ってみることにした。靴作りは大きく企画・設計、製甲、底付、仕上げの4つの行程に分かれている。ゼロから木型を見直さないと、女性の足を痛めない婦人靴は作れない。そう考えを定めると、土日はもちろん、仕事を終えた後も毎日、休むことなく木型作りに取り組んだ。

試作した靴は、「私が納得しなければ先に進めないでしょう?」と言ってくれた奥さんが試着し、夫婦で木型作りの完成を目指した。「妻がいなければできなかつたですよ。」と矢口さんは言う。靴は外国が手本で、職人たちも皆、木型とはこのようなもので、女性の足に合うものだと思こんでいた。若い頃の矢口さんも、そうだったという。だから底付けのプロである矢口さんが木型作りをすることは、特別勇気がいり、精神的にとて緊張したそう。

試行錯誤しながら開発した木型に一定のめどがついた頃、放送大学の保健体育の先生が、筋電図を使い、従来の靴と新しい靴を比較してくれることになった。お店で靴作りをしていた女性スタッフが、被験者となり、トレッドミル(ランニングやウォーキングを行うための器具)の上を歩き、科学的にデータを収集した。



〒114-0011 北区昭和町 2-1-18
TEL 3894-4339 FAX 3894-4341
営業時間：10:00～13:00 及び 14:00～19:00
定休日：日曜祭日(不定期のため事前にご確認ください)

データには、足の筋肉の動きの違いが見事に出ている。従来の靴は、足の前側の筋肉を酷使していた。新しい靴は足の前と後ろの筋肉が、バランス良く働いていた。木型を削りつけてきた矢口さんの長年のモヤモヤが、晴れた瞬間だった。外反母趾をはじめ様々な足のトラブルに悩む女性を助けた。その思いから生まれた矢口さんの婦人靴は、履きやすく疲れないと評判になり全国に広がった。木型のことには外にあまり主張しなかつた。結果がよければ満足だった。しかし、リーマンショックで、売上が50%もダウンし、幸か不幸か、以前から作りたかつたハイヒールの木型作りの時間ができた。それで猛烈にチャレンジし、冒頭で紹介した歩きやすいハイヒールが完成した。今、工房では息子さん

を含め4人の職人が働いている。次は、この木型作りのノウハウを含めた靴作りをもっと多くの人たちに広めていくことが目標だ。「いいものが完成すると、さらにいいものにしたくなります…。」素晴らしいながら美しいフォルムをした木型を見せてくれた。ファッションである靴の世界に、節目となる到達点があってもゴールはないのだろう。55年愛用している底付けに使う矢口さんのハンマーが、輝いて見えた。

55年愛用しているハンマー



55年愛用している底付けに使う矢口さんのハンマーが、輝いて見えた。

地球にやさしい にぎわいのある商店街を目指して

東十条商店街

LEDランプ&ステンドグラス
の美しい街路灯が好評です。

ふと見上げるとステンドグラスの装飾ランプが、目に飛び込んでくる。六角柱のおしゃれなLEDランプの街路灯が、東十条商店街(正式名:東十条商店街振興組合)に登場したのはこの3月のことだ。

写真のようにステンレスポール
の先端にステン
ドグラス装飾、
その下に2個の
LEDランプが
付いている。

お話しを伺った東十条商店街の理事長 猪狩 幹夫さんによると、今回、新しくなった街路灯は45基。その他、商店街の出入り口などのアーチ(4基)と半アーチ(4基)は、元々ステンレス製で状態が良かったためランプ部分だけをLEDランプに交換した。25年ぶりに街路灯をリニ



アルするにあたり商店街では委員会を設け、各地のLED街路灯を視察してデザインの参考にした。その過程で、商店街にとって一番大事な昼間のお客様に、アピールできるアイデアとして、日中でも映える明るいステンドグラスがよいとの

結論になった。
こうしてLEDランプは
どれほど省エネなのだろう??
「キレイだね、立派だね」と、注目を集めた街路灯の完成記念横断幕には、「みんなでレジ袋をへらしましょ」と書いてある。CO2の削減は国を

挙げて解決しなければならぬ大問題。東十条商店街も、行政と連携してお客様に省エネ&エコを積極的に呼びかけている。街路灯のLEDランプへの交換も、地球温暖化対策・

環境負荷低減の一環で、東京都と北区の補助を受けてのことだ。
その省エネ効果は絶大で、平成21年4月の電気料12万1千円が、平成22年4月は5万3千円になったそうだ。実に54%もコストダウンできたことになる。年間81万6千円の節約になり、しかも、耐用年数が長いLEDランプは、従来より高価だが今後10年間、ランプ交換の必要がない。東十条商店街は、新しい街路灯と同時に、電気代を半額以下にでき、一石二鳥である。こうした数字を具体的に知ると、我が家の照明器具をLEDランプに代えたくなる方も増えそうだ。

「商店街は空き店舗を出さないことが大切です。」
こう話す猪狩理事長は、新規の出店を知ると、すぐ勧誘に出



秋祭り サンバカーニバル

かけて行くそうで、東十条商店街は現在152店の大所帯。

「商店街は、イベントを続ける努力をしないと、すぐに元気がなくなる。」こうした考えで、商店街の独自イベントも積極的に開催している。10年前から10月第2日曜に秋祭りサンバカーニバルを行い、毎年多くの人で賑わっている。また、商店街の食材で作った食事を高齢者に提供する「ふれあい給食」は毎回、お客様まで会場がいっ

ぱいになるほど好評だ。区内の商店街で、ふれあい給食を実施しているのは3か所だけである。このように積極的に活動する東十条商店街の新しいシンボルとして完成したステンドグラスの街路灯は、LEDランプで、省エネ&エコ。新しい時代の「にぎわう商店街」を今日も美しく彩っている。



東十条商店街振興組合 TEL 3911-2404



ステンドグラスがきれいなLEDランプ

楽しい発見がいっぱい!

都電荒川線ウォークラリー

都電荒川線沿線地域でウォークラリーを行います。北区と荒川区それぞれで複数のコースが設定され、いずれのコースも観光スポットや地元の商店街等、様々な魅力に触れながら歩くことができます。昨年は約1,300名が参加したこのイベント、是非ご参加ください。

日時:10月30日(土) 10~15時
問い合わせ先:産業振興課産業振興係
TEL 5390-1234



東京信用保証協会のご案内

東京信用保証協会は、中小企業の皆さまが金融機関から事業資金を借入する際、「保証人」となり資金調達をスムーズにする役割を担う公的機関です。北区融資制度や、東京都制度融資など、お客さまのニーズに応じた商品をご案内します。

経営支援にも積極的に取り組んでいます。

●産学連携による共同公開講座

経営者の皆さまや、経営幹部の方、後継者の方、起業を検討されている方などのニーズにあったテーマで公開講座を開催しています。

●創業者向けの公開講座・創業スクール実施

勉強したい・詳しく知りたい方にオススメ! 創業に必要なノウハウを学べます。

保証に関する問い合わせ先

東京信用保証協会 上野支店
台東区元浅草2-6-7マタイビル5階 TEL 3847-3171
<http://www.cgc-tokyo.or.jp/>

おすすめビジネス書

伝える力 『話す』『書く』『聞く』能力が仕事を変える!

池上彰著 / PHP研究所 / 800円(税別)

著者は元NHKキャスター。子どもや一般視聴者にニュースをわかりやすく解説する仕事で定評があり、本書も、コミュニケーション能力を高める実践的な事柄を大変丁寧に、わかりやすく説いている。目新しい記述は見当たらないが、書かれていることはすべて身につけることができそうな気がしてくるのは著者の伝える力ゆえ。本書は最近のベストセラーだが、なんと発行から3年以上も売れ続けているロングセラーだ。



俺の感性が羅針盤だ! 人生の答案用紙にナビはない

岡野雅行著 / こう書房 / 1,400円(税別)

著者はリチウムイオン電池のケースや痛くない注射針の金属加工で世界的に有名な町工場の社長。逆境やハンディをその都度バネにして感性を磨いてきたという岡野が、元気のない日本のリーダーたちに自身の経験と発想を伝えようとしたのが本書。著者が一貫して唱えるのは、基礎をしっかりと勉強したらあとは常識の枠を取り外し、人のやらないことをやる、失敗してもあきらめないという精神。日本のものづくりの神髄がここにある。



No.1エコノミストが書いた世界一わかりやすい金利の本

上野泰也編著 / かんき出版 / 1,500円(税別)

著者は金利予測の第一人者として知られるトップエコノミスト。本書は、金利と利回り計算の基本から、金利が決まる金融市場のしくみと最新事情、金利を決める経済のさまざまな要素と影響度、世界各国の金融政策と金利水準等々、金利に関わる多様な事項を、各項目2~4頁でわかりやすく解説。初心者用の解説書ではあるが、金利という切り口から、世界経済の将来を読み解く道筋も示されている。



北区立図書館ビジネス書貸出ランキング (2010/6/1~7/31)

- 1 ファーストクラスに乗る人のシンプルな習慣
美月あきこ著 / 祥伝社
- 2 フリー
クリス・アンダーソン著 / 日本放送出版協会
- 3 どうなる!日本の景気
Voice編集部著 / PHP研究所
- 4 金持ち父さん貧乏父さん
ロバート・キヨサキ著 / 筑摩書房
- 5 経済のことよくわからないまま社会人になってしまった人へ
池上彰著 / 海竜社

北区景況調査

北区では、区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています。

調査時期 平成22年4月~6月

今期は製造業と建設業が改善した。

来期は、他の業種も幾分厳しさが和らぐと予想している。



製造業

景況感は、前期より水面下ながら大幅に改善したものの、依然として厳しい状況が続いている。売上額・受注残はともやや改善し、収益も大幅に改善した。原材料価格が大きく上昇したものの、販売価格の低下幅が縮小したため、収益環境の厳しさは和らいだ。借入難易度は大きく改善したものの、借入れをした企業は大幅に減少した。

小売業

景況感は、4期ぶりに改善し、全都と比較すると上回っている。売上額は前期並みで推移し、収益はやや改善した。価格面では、仕入価格が2期連続で増加し販売価格は前期並みで推移した。借入難易度は横ばいで推移したが、借入をした企業はやや増加し、設備投資を実施した企業もやや増加した。

サービス業

景況感は、全都と比較すると上回っているものの、厳しい状況が続いている。売上額はやや悪化し、収益も大幅に悪化した。売上額・収益ともに2期連続で悪化した。材料価格は横ばいで推移したものの、料金価格の下降幅が拡大した。借入難易度はやや悪化し、借入をした企業はやや減少した。

建設業

景況感は、前期より水面下ながら2期連続で改善した。売上額・受注残は前期並みで推移し、施工高・収益はともやや改善した。材料価格は前期並みで推移し、請負価格が水面下ながら改善したため収益環境の厳しさは和らいだ。借入難易度は大幅に改善し、借入をした企業も大幅に増加した。設備投資を実施した企業は前期並みとなった。